

対象器種	FHT-53310-PD9(調光用) FHT-54310-PD9(調光用) FHT-54311-PD9(調光用)
適合ランプ	東芝蛍光灯ランプ<Hfユーライン> 45ワット形

このたびは東芝蛍光灯器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この器具は、電源電圧100/200/242V共用の電子安定器を採用しております。また電源周波数に関係なくご使用できます。

●素人工事は法律で禁じられております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

工事店様へ

施工上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。

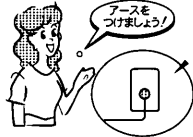


❗ 取り付け

電源線接続の際は、本取扱説明書の④器具の取り付け②③に従って行ってください。曲がった電線や、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因となります。

❗ 電源線接続

アース工事は電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因となります。(D種(第三種)接地工事)



アース工事

器具を改造したり、部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。



NO! 改造

この器具の送りは、20Aまでです。尚、送り配線は、照明器具専用です。超えて使用されると、感電、発熱、火災の原因となります。

❗ 送り

調光制御装置には必ず適合する機種を組み合わせてください。誤って使用しますと誤動作、火災の原因となります。適合表は、次項の調光制御装置の施工上の注意をご参照ください。

❗ 調光器



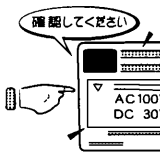
注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具は屋内専用で、5℃～35℃の範囲で使用するよう設計しております。高温で使用しますと火災の原因となります。屋外や水気、湿気のある場所及び腐食性ガスの発生する場所で使用しますと、器具落下、絶縁不良、感電の原因となります。また、軒下などで雨水の降込みや湿気をおびる場所で使用しますと火災の原因となります。

❗ 温度
周囲環境

器具表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧でご使用しないでください。間違えて使用しますとランプ、安定器などの短寿命、火災の原因となります。(器具の定格電圧と電源電圧は器具を取り付ける前に必ず確認してください。)



❗ 電源電圧

・お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ

使用上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

❗ 電源を切って

ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすい物を近づけたりしないでください。火災の原因となります。

❗ 可燃物

ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書とりの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

Hf
ランプ専用

確認してください
FHP45
❗ 適合ランプ

点灯中および消灯直後はランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

❗ ランプ高温



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

・器具を水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。
・器具を掃除する際は、ソケット等の樹脂部には、水、洗剤、薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります

・器具を洗剤、薬品などで拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。器具の破損、落下、感電などの原因となります。

・金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。

・器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で湿したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
・ランプを清掃する際はランプを器具から外して乾いた布でふいてください。

・照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。

・1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)

・点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。



お願い

ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。間引き点灯の場合は、分岐回路をもうけ、そのスイッチで消灯してください。

保

(5370131)C

■各部のなまえ

器具質量	
FHT-53310-PD9	8.0kg
FHT-54310-PD9	8.5kg
FHT-54311-PD9	8.8kg

この取扱説明書は同種類の蛍光灯器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■調光制御装置の施工上の注意

下記の調光制御装置をご使用して調光をおこなうことができます。
 調光制御装置と組み合わせてご使用になる場合は次の点にご注意ください。

I. SESLをご使用の場合

- ①SESLは必ず下記に示す適合電圧の製品をご使用ください。
 - ・あかりセンサータイプ
 DF-20203MXD1(100V用)、DF-20203MXD2(200V用)、DF-20204MXD7(100V、200V、242V共用)
 - ・あかり+人感センサータイプ
 DF-20203MZD1(100V用)、DF-20203MZD2(200V用)、DF-20204MZD7(100V、200V、242V共用)
 - ・パネルタイプ
 DF-20301-PD7(100V、200V、242V用)
- ②「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
- ③電源線は、SESL用と器具用の2系統必要となります。

II. コントルクス(FLコントルクスPD)をご使用の場合

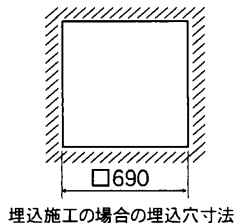
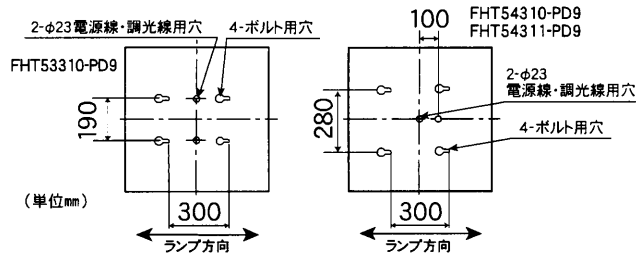
- ①FLコントルクスPDは必ず下記に示す製品をご使用ください。
 - ・DF-70162-PD(100V~242V用)
- ②その他のコントルクスとは適合しません。
- ③「電源線(2線)、調光線(2線)」が必要になります。
- ④コントルクスと照明器具との総配線長は200m以下としてください。

- ・その他SESL、コントルクスの施工上の注意についてはそれぞれの個別のサービス図面または、取扱説明書をお読みください。
- ・器具への結線の際、電源用と調光信号用の端子台を間違わないよう接続してください。
 「誤結線しますと安定器が壊れます。」
- ・調光信号線はφ0.9、φ1.2の銅単線(CPEV)または、警報用電線、AE線などをご使用ください。

調光制御装置との結線図

■器具の取り付けかた

1 器具の取付ボルト位置と埋め込穴(埋込施工時)

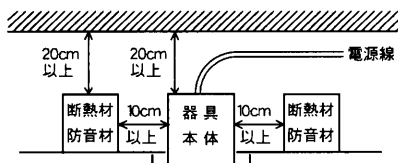


※埋込施工時は埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組み込んでください。

2 断熱材・防音材の施工法

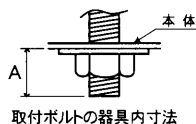
住宅の断熱施工天井ではご使用できません。
住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合は、下記のように施工してください。

- ・電気配線は断熱材防音材の上側にくるように配線してください。
- ・器具本体に電源線を接触させないでください。



3 器具の取り付け準備

- ①器具重量に十分耐えるようボルトの強度を確保してください。
- ②A寸法は25mmを越えないようにしてください。
- ③導通ねじをゆるめ、反射板をすばめて本体のツメ受け穴からツメを抜き、反射板をはずしてください。



4 器具本体の取り付け

- ①本体を取付ボルトで確実に取り付けてください。
 - ・取付ボルトはW3/8またはM10を使用し、座金を必ず入れてください。
 - ・配線を挟まないようにしてください。

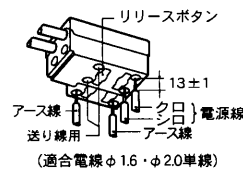
⚠ 不備がありますと器具落下、感電の原因となります。

(注)取付ボルトのナットを締め過ぎますと、器具が変形する場合がありますので、器具本体の縁部が天井面に密着したところで締め付けをおやめください。

- ②Fケーブルの劣化を防ぐため、Fケーブルのシースを100mm以上皮むきをし、必ず電源線に付属のチューブをはめ込んでください。電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

⚠ 不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、絶縁劣化や接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

反射板との当たりを防ぐため、チューブをはめ込んだ電源線を、端子台に押しつけ10mm以上凸にならないように接続してください。

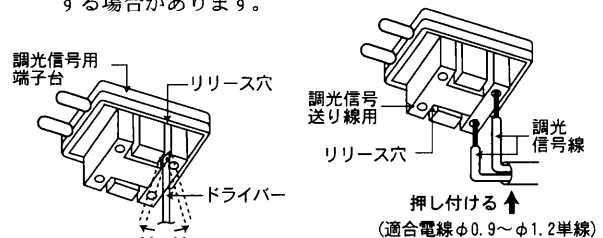


端子台の容量は20Aです。

⚠ 容量を超えると発熱、火災の原因となります。

- ③調光信号用端子台に調光信号線を差し込んでください。調光信号線はφ0.9、φ1.2の軟銅単線(CPEV)または警報用電線、AE線をご使用ください。

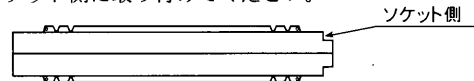
(注)ドライバーは端子台に垂直に押し込んでください。押し込み後、ドライバーを強く傾けると端子台が破損する場合があります。



④FHT-53310-PD9、FHT-54310-PD9の場合

- (1)反射板をすばめて本体のツメ受け穴にツメを挿入してください。その際、反射板のスリットを導通ねじに差し込んでください。
 - ・図のように本体の突起が反射板の穴にはまっていることを確認してください。

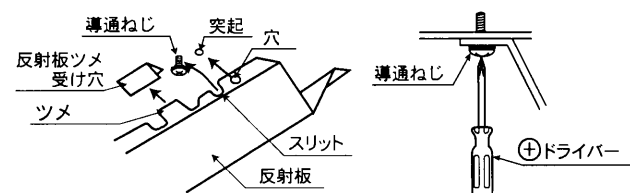
FHT-54310-PN9の反射板は方向性があります。端部に段のある方をソケット側に取り付けてください。



⚠ 不備がありますと反射板落下、感電の原因となります。

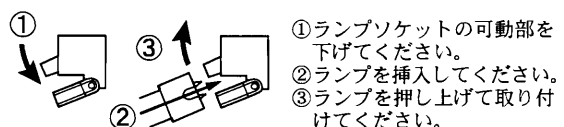
- (2)導通ねじを確実に締め付けてください。導通ねじは端子台の下につける反射板にのみ1本だけ取り付けてください。

⚠ ねじの締め付けが不完全な場合、感電の原因となります。



- (3)ランプソケットの可動部を下げて、ランプを斜めに挿入し、ランプを押し上げてランプソケットに確実に取り付けてください。ランプをランプホルダーに、確実に差し込んでください。ランプを取り外す場合には、取り付けかたの逆の順序で行ってください。

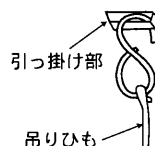
⚠ 不備がありますとランプ落下の原因となります。



- ①ランプソケットの可動部を下げてください。
- ②ランプを挿入してください。
- ③ランプを押し上げて取り付けてください。

⑤FHT-54311-PD9(バッフル器具)の場合

- (1) ④-(3)と同様にランプを確実に取り付けてください。
- (2) 吊りひも先端の金具を本体の取付ボルト穴付近傍の引っ掛け部に引っ掛けてください。金具は、はずれないようにペンチなどで曲げてください。

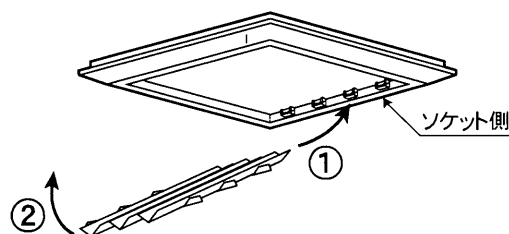


- (3) バッフルをソケット側から本体に合わせ、本体の反射板ツメ受け穴にバッフルのツメ4点を挿入して取り付けてください。その際、吊りひもが外に出ないように注意してください。

⚠ 不備がありますと、バッフル落下の原因となります。

- (4) 導通ねじ取付け部の反射板をすぼめて、反射板のスリットを導通ねじに差し込んでください。
- (5) 導通ねじを確実に締め付けてください。導通ねじは端子台につける反射板にのみ1本だけ取り付けます。

⚠ ねじの締め付けが不完全な場合、感電の原因になります。



保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

フリーダイヤル

☎ 0120-66-1048

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485(通話料:有料)

FAX 0570-000-661(通信料:有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

東芝ライテック株式会社 施設・屋外事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

TEL(046)862-2092
FAX(046)861-8796

保

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。